

ARC Advisory Group レポート

本コーナーでは米国の大手調査会社、ARC アドバイザリーグループの市場報告書を紹介している。今回は輸送管理システム市場と倉庫管理システムについてのレポートを取り上げる。

大手物流企業が牽引する 輸送管理システム市場

TMS (Transportation Management Systems : 輸送管理システム) の世界市場は二〇一二年に対前年比二けたの成長を遂げた。この勢いは一七年まで引き続き持続するとARCでは予測している。

ARCの『輸送管理システムの世界市場動向調査 (Transportation Management Systems Global Market Research Study)』の著者で、サプライチェーン・マネジメント担当役員のスティーブ・バンカーは次のように語る。

「この成長の大きな要因は、大手企業がTMSソリューションに対する認識を新たにしていることである」

成長の源泉はティア1・カスタマー

「新興諸国においては、ティア1・カスタマー(売上一〇億ドルを超える大手企業)が

成長を引っ張っている状況ではない。

しかしながらTMSは二二年には一〇億ドルを上回る確固としたマーケットとなっている。今後の成長にとってより重要性を増してくるのは、中堅もしくはそれより小さな企業であると想像する向きもあるかもしれない。ところが今市場で起きているのはそういうことではない」

とバンカーは語る。
北米や欧州に本社を置く大手企業は、これまで自分の本拠地でTMSを導入することから多くの利益を得てきたが、今や世界のほかの地域へもそのソリューションを展開し始めている。

また、中南米やアジアの巨大多国籍企業が、自らの本拠地でTMS導入に動いているもようだ。しかも最大手のTMSプロバイダーは、中南米や欧州にソリューションを販売するに

当たって、特別な値引きをする必要性に迫られていない。

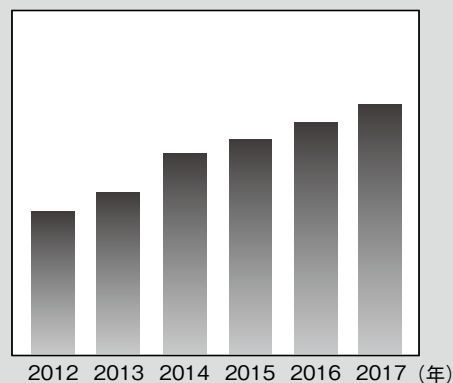
大手物流企業による各地域への展開は、近年さらにグローバル対応を強化したTMSソリューションに支えられている。

このグローバル機能としては、国際輸送を最適化する機能、各地域特有の機能、計画立案から手配、決済に至る過程で生じる為替変動をうまく取り扱うことができる分析機能などがある。

成長を支えているのは大手物流企業だけではない。3PLと呼ばれるロジスティクス・サービス・プロバイダーの間では、購入の新たな気運が高まっている。

その新たな機運とは既存のTMS、とりわけ大手ERPベンダーによって提供されたシステムを、最新のTMSに変更するという動きである。

輸送管理システムの世界市場成長予測



©2013 ARC Advisory Group

市場拡大に寄与する eコマースの新たな概念

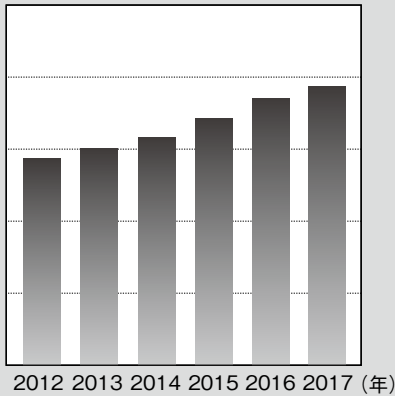
WMS (Warehouse Management Systems : 倉庫管理システム) の世界市場は、対前年比で8%伸びた。これは成熟市場と新興市場がともに伸びるという裾野の広いものであった。成熟市場での成長要因は、既存のWMSの多くが更新サイクルを迎えたことにある。この動きが一段落した後は、一過性ではない要因が市場を牽引することになるだろう。それらの要因としては、追加モジュールの採用が広がること、サプライチェーン実行プラットフォームによって得られる効果を狙った追加のアップグレード、オムニチャネル・リテイリングという概念がもたらす需要増、などが挙げられる。

「オムニチャネル型小売業者は、ブリック・アンド・モルタル（実店舗）とeコマースの販売網を統合しようとしている。それに合わせて従来型の倉庫業者は、eコマースフルフィルメント（受注から入金処理までの一連の処理）に必要となる、アイテムを一個単位でハンドリングするWMS機能の導入を進めている」。ARCの『倉庫管理システムの世界市場動向調査（Warehouse Management Systems Global Market Study）』の著者で、エンタープライズ・ソフトウェア・アナリストのクリント・ライザーはそう語る。

オムニチャネル・リテイリング

オムニチャネル・リテイリングという考え方が普及するにつれて、小売業者・アパレルブランド・3PL企業からWMSソリューションに対する引き合いが増え続けてきている。これまで店舗への商品補充がメインだった小売業者の倉庫は、eコマースに焦点を合わせた新たな領域に軸足を移しつつある。また小売業者も店舗の在庫レベルをより正確に把握し、発注やフルフィルメントの選択肢を広げるため、店舗用WMSソリューションを導入している。一方、自社のウェブサイトを通じて消費者に直接販売しているアパレルブランドの多くは、販売網統合という戦略を支えるインフラとしてWMSを購入している。また、eコマースが発展するに従って多くの3PLがeコマースの専用のフルフィルメントセンターを構えるようになり、この直接販売というチャネルでの販売を3PLに委託する動きも

倉庫管理システムの
世界市場成長予測



©2013 ARC Advisory Group

目立つ。 価値高めるプラットフォーム

専用システムおよびERPプロバイダーは、統合サプライチェーン実行プラットフォームがもたらす効果を喧伝している。その効果とは、各業務が相互の連携を欠くサイロ型になるのを防いだり、情報を収集・集約・共有する機能であったり、あるいは情報の質が向上することで業務を分析する包括的な視野が得られるといったものである。ARCではこれらの効果は、迅速なアップグレードとインプリメンテーションによるTCO（総所有コスト）低減の可能性とともに、近い将来におけるWMSソリューションの販売に寄与するものと予測している。

成長するWMSの追加モジュール

労務管理システム、倉庫分析機能、スロットティング（保管場所の割り振り）最適化などのWMSの付加的な機能の売り上げは目覚ましい伸びを示している。既に多くのWMSサプライヤーは幅広いラインナップで追加モジュールを用意しているし、手持ちのWMSソリューションメニューを増やすべく追加モジュールを開発中のサプライヤーも多い。ますます多くのサプライヤーが追加オプションを増やすこととしており、カスタマーもそれを求めていることから、ARCではこの追加モジュールの売り上げは全体の伸び以上に成長するものと見ている。